

東日本支部 良導絡専門師 東 利枝

臨床に役立つ良導絡治療 慢性疲労感とうつ症状

一般的な鍼灸院への初診時来院理由は、依然、肩こりや腰痛といった整形外科的なものが主流である。最近の SNS 普及で美容鍼といった本流とは違った方面から、鍼灸を身近に感じ、来院する若年層も増えてきた。鍼灸専門学校においても、美容、スポーツを専門科目に謳う所も増え、卒後研修では特殊鍼法や古典を学び直すといった講座より、SNS の上手な使い方や美容、自律神経療法、妊活といった講座が人気である。また、都内で人気の高いフランチャイズの鍼灸院は、睡眠、自律神経調整といったことを美容と並んで打ち出している。こうした傾向は当院においても、腰痛や肩こりの受傷理由がケガによるものより、疲労の蓄積、休息不足に起因する傾向が増えている。こうした患者は、睡眠障害、耳鳴り、頭痛、めまい、味覚障害、嗅覚過敏、難聴といった随伴症状が多く、特に近年のコロナ禍での自粛生活が続いた影響もあり、抜けない疲労感、倦怠感、うつ症状といった自律神経不調と関連の強い、原因が明確でない症状に悩む傾向にある。これらの症状は投薬治療ではなかなか効果が見られず、そのため病院ショッピングする患者が多く、鍼灸治療においても自律神経を得意とすると宣伝されている治療院ショッピングしている患者がみられる。良導絡では患者とチャートを紹介して状態を診ていることが出来るという特徴があるので、一緒に治療方針を考え、結果を見ていけるという点で患者の安心を得る事が出来るという利点がある。一方で、チャートでは改善を見せていても、随伴する諸症状が改善しない患者も多い。これを、単に心因性と呼んでよいのか、患者とともにチャートを読む中で、慢性的疲労症状とうつとの違い、顕著に伴う睡眠障害での改善例をもとに、効果の高い治療法について紹介する。

AN 鍼灸指圧マッサージ AN Ryodoraku & oriental medicine clinic 院長
東京医療専門学校教員養成科卒業 鍼灸按摩マッサージ師 推拿、薬膳等